

<p>I. 私たちはアブラハムのように、神が唯一の源であることを、すなわち、「無から有を呼び出される」方であることを信じるべきです(ローマ 4:17):</p>	<p>A. 彼は創造の神であり、何かを造り出すのに材料を必要としません。彼はただ語りさえすれば、無から有を創造することができます。</p> <p>B. 神を御父として知ることは、彼が源、唯一の発起者であること、またすべては彼に起源があり、彼から出てくることを認識することです: ローマ 11:36 なぜなら、万物は彼から出て、彼を通し、彼に帰するからです。彼に栄光が、永遠にありますように。アーメン。</p>	<p>1. 父なる神は、宇宙における唯一の合法的な創始者であり、聖霊は、私たちの心の中の唯一の合法的な発起者です。</p> <p>2. 神はすべての霊的な働き of 創始者でなければならず、神のみこころは私たちのすべての奉仕の開始を支配しなければなりません。 マタイ 7:21 私に向かって「主よ、主よ」と言う者がみな、天の王国に入るのではなく、天におられる私の父のみこころを行なう者だけが入るのである。</p>
<p>II. 召会における私たちの働きと奉仕はすべて、神によって発起されなければならず、彼の願いにしたがっていなければなりません: ピリピ 2:13 なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの中で活動する神だからです。 エペソ 1:9 みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。これは、神がご自身の中で計画された彼の大いなる喜びによるもので。</p>	<p>A. 真の奉仕は私たちから出て来るのではなく、神だけから出て来ます。神によって発起されるものだけが、啓示にしたがった奉仕です。</p> <p>B. 人によって発起された、あるいは開始されたものは何であれ、それがどれほど神のためであっても、宗教の活動です:</p> <p>C. 私たちはすべての奉仕において神を思い、神を畏れるべきです。私たちは、自分が神のために行なっていることが神によって発起されるのではなく、私たち自身によって発起されることを畏れるべきです。</p> <p>D. 私たちは内側深くで、神が私たちの協力だけを欲していることを学ばなければなりません。神は私たちが彼のために何かを行なうことを必要としません:</p> <p>E. 主に仕える者たちは、彼らの奉仕が神から出たものでなければならぬことを見る必要があります:</p>	<p>1. 神の目に、このような活動は神の奉仕や、神の働きではありません。</p> <p>2. 神が考慮するのは、彼がご自身のための奉仕や働きとして発起したものです。</p> <p>1. 神は私たちに彼と協力してもらいたいのですが、私たちに何も発起してもらいたくないのです。</p> <p>2. 私たちは自分の意見、決定、考えをすべて停止し、神に語っていただき、来ていただき、命令していただくようにしなければなりません。</p> <p>3. 神に仕えるすべての者たちは一つの原則を見なければなりません。それは、神の働きが人の協力を必要としますが、人の発起を必要としないということです。</p> <p>4. 私たちは、自分自身のすべてを停止して、神のみこころを認識する必要があります。 ローマ 12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。</p> <p>5. 神の啓示を受ける唯一の前提条件は、死ぬことによって、私たちの語りかけ、意見、見解、自己を停止するという事です。</p> <p>6. 神に仕える事柄において、私たちは自分自身を停止して、語るための絶対的な機会を神に与えなければなりません。</p> <p>1. 私たちはこのことを見て、内側で照らされるなら、神の奉仕に関するどんなこともあえて開始しようとしないでしよう。</p> <p>2. 私たちは、主に仕えることにおいて具体的な経験を持ち、主によって照らされて私たちの奉仕が神から出たものでなければならず、自分自身から出たものではないことを見るという明確な点に来なければなりません。</p>

<p>Ⅲ. <u>Ⅱコリント第3章5節と6節</u>において、二つの異なる源の奉仕があります： <u>Ⅱコリント 3:5</u> 私たちは、何かを自分から出たものと評価する資格が自分にあるというではありません。私たちの資格は神から来るのです。 <u>6</u> 神はまた私たちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。</p>	<p>A. これら二つの源は、自分と神です：</p>	<p>1. 5節の「自分」は、6節の「文字」に結び付けられ、5節の「神」は、6節の「霊」と一です。</p> <p>2. 文字によって神に仕えることは、実は自分自身によって神に仕えることであり、霊によって神に仕えることは、神ご自身によって神に仕えることです。</p> <p>3. 文字による奉仕が自分自身の中での奉仕、自分自身からの奉仕であるように、霊の中の奉仕は神の中での奉仕、神からの奉仕です。</p>
	<p>B. ただ二種類の奉仕があり、二種類の源に分けられます。一方の種類の奉仕は文字によるものであり、自分から出たものです。もう一種類は霊によるものであり、神から出たものです：</p>	<p>1. 自分から出た奉仕は、自分をその源としており、それは文字の規定と儀式にしたがって、私たちによって行なわれることです。それは神の外側で私たちによって遂行され、神から独立しており、神に依り頼む必要もなく、神を尋ね求める必要もなく、神と交わりを持つ必要もないものです。</p> <p>2. 神から出た奉仕は、私たちが神に依り頼み、神を尋ね求め、神と交わり、神の中におり、絶対的に神を私たちの源とすることを必要とします：</p> <p>a. このような奉仕は、神の啓示から出たものであり、神の聖霊に依り頼んでおり、神の目的のためです。</p> <p>b. このような奉仕は、私たちが霊の中で生き、また霊の感覚によって生き、その霊の導きにしたがって歩くことを必要とします。</p>
	<p>C. 神から出た奉仕は、私たちが神と交わることを必要とします。また神から離れないことを必要とします：</p>	<p>1. 神に仕えることは、神との時々刻々の、新鮮な接触を必要とします。</p> <p>2. 神から出た、また神に喜ばれる奉仕はすべて、神と接触し、神に触れることによって遂行されます。私たちは一方で神と接触し、もう一方で彼に仕えます。</p> <p>3. もし私たちが神の外側で仕えるなら、それが私たちの熱意や他のどんなことによってであろうと、私たちの奉仕は神から出たものではないので、何の霊的な価値もありません。</p>
		<p>a. 一方で、彼は私たちの内側で働いており、もう一方で、私たちは外側で彼に仕えています。</p> <p>b. このような奉仕は、私たちの内側での神の働きから生じる活動です。外側で私たちは彼に仕えていますが、内側で彼は働いています。</p>
		<p>c. パウロは神に仕えていましたが、パウロの仕えることは、神がパウロの中で働くという事柄でした： <u>コロサイ 1:29</u> このために、私もまた労苦し、私の内で力をもって活動している彼の活動にしたがって、奮闘しているのです。</p> <p>(1)パウロが神に仕えたのは、自分自身を内住する神にささげ、ゆだね、自分の思い、感情、意志を神の管理の下に置いて、神で占有され、満たされたゆえでした。</p> <p>(2)パウロは内側で神によって推し動かされたので、彼に外側で神に仕えるように強いる力がありません。彼の中には神がおられ、彼とミングリングし、彼が奉仕するように動機づけました。</p>
		<p>4. 神から出た、霊的な価値のある奉仕は、私たちが神の中に住むことによって彼に結合され、彼と交わることでなければなりません：</p>
	<p>D. 私たちの奉仕の源は、神であるべきであり、霊であるべきであり、私たちの中での神の働きであるべきであり、私たちの霊の中での神の霊の働き、方向づけ、導きであるべきです。これらの事柄から出てきた奉仕だけが、神から出た奉仕です。 <u>Ⅰコリント 8:6</u> 私たちにはひとりの神、父がおられるだけです。万物は彼から出て、私たちは彼へと帰するのです。またひとりの主、イエス・キリストがおられるだけです。万物は彼を通して存在し、私たちも彼を通して存在しています。</p>	

経験(ビジネス・ライフ編)

①私はある兄弟に尋ねました、「それでは、あなたが主から離れては何もすることができないと言うのは何を意味するのですか?」。彼は答えました、「主は私に、私が何でもすることが『できる』ことを示されましたが、『彼』は、『私を離れては、あなたがたは何もすることができない』と言われました。そこで、こういうことになります。私が主を離れて行なったすべてのこと、また依然として行なうことができるすべてのことは、『無である』のです!」。私たちはそのような評価へと至らなければなりません。私は、私たちには多くの事ができないと言っているのではありません。なぜなら、私たちはできるからです。私たちは集会を開き、諸召会を建造することができ、地の果てまで行って伝道団を設立することができ、実を結ぶことができるかのようです。しかし、主の言葉が次のようであることを覚えていてください。「私の天の父が植えなかった植物はすべて、根こそぎにされる」(マタイ 15:13)。神は宇宙における唯一の合法的な創始者であり、聖霊は、私たちの心の中の唯一の合法的な発起者です。

キリストはぶどうの木であり、あなたはぶどうの木の枝です。枝であるあなたは木から離れては、実を結ぶことは決してできません。ビジネスにおいて、一見あなたはあなたがやりたいように何でもできるようですが、主から離れてどれだけ多くのことを行っても、決して神を喜ばすことができず、神に導かれることもないので、豊かな実を結ぶことはできません。肉から生まれるのは肉であり、霊から生まれるのは霊です(ヨハネ 3:6)。神の霊によって導かれているものはみな神の子たちであるからです(ローマ 8:14)。主の中に住み、霊で満たされ、主の即時的な語りかけを聞く人は、日々の業務が主によって導かれ祝福されるので、それぞれの業務が相乗効果を持つようになり、ますます繁栄するようになります。主から離れて業務を行うと、あなたは忙しい業務によって振り回され、決してあなたが業務を支配することはできません。その結果、それぞれの業務が相乗効果を持つことは極めて難しくなってしまいます。したがって、ビジネス・ライフにおいても、主から離れては何もすることができないのです。あなたは主の中に住むことを、あなたのビジネス・ライフの成功の秘訣とするべきです。

②ヨブの友が彼と議論していたとき、神はともにも忍耐しておられました。彼はわきに退いて、すべての者に語らせました。すべての者が終わってはじめて、彼は入って来て語りました。神の啓示を受ける唯一の前提条件は、私たちの語りかけ、意見、見解、自己を停止することです。「停止する」という言葉と言うのは容易ですが、停止することは容易ではありません。私たちが停止する最上の道は死ぬことです。いったん死ぬなら、私たちは停止します。神の助言は人の言葉によって暗くされます。人の意見は彼の言葉の中で表現され、彼の言葉は彼の意見を代表します。神によれば、人の言葉は彼の助言を暗くします。その結果、ヨブが語ったとき、神はご自身を隠しました。後ほどヨブは、自分が語ったとき、神は黙ったままであったことを認識しました。私たちが意見を持ち、何かを発起することを願うとき、神は停止してご自身を隠します。これは、私たちが見る必要があることです。

あなたの職場や同僚、上司などは、主によってあなたの益のためにアレンジされました。あなたが主を愛するなら、これらの環境は神によって用いられ、あなたを造り変えるのを助けるでしょう。この同僚は気難く、上司は厳しすぎる、あるいは能力がないので、自分は意味のないビジネス・ライフを強いられていると考えてはいけません。自分の感覚や意見を主に主張して、主を助けようとしてはいけません。天然の人は表面的な物事を判断するので、味方を敵

と考えたり、敵を味方と考えると、大混乱に陥ります。あなたに必要なことは、神に信頼し神に感謝して、自分の意見を十字架につけ、主の御声を聞き単純に主に従って行くことです。

③働きが神から出たものであるかどうかを示す間接的な証拠があります。もしある働きが神から出たものでないなら、兄弟姉妹はしばしば進んでそれを成し遂げようとしません。しかしながら、ある働きが神から出たものであるなら、兄弟姉妹は共に労苦することができます。…たとえ兄弟姉妹が共に労苦することによっていくつかの困難があっても、これは必ずしも問題ではありません。なぜなら、その働きは彼らの責任ではないからです。主によって遣わされた者はしばしば実に忍耐強いのです。人は自分の働きを行なっているとき、成功のために心配しますが、主の働きを行なっているなら、心配しないでしょ。なぜなら、それは主の事業であるからです。私たちはある人の働きが神から出たものであるか、あるいは彼自身から出たものであるかを決定したいなら、彼が働きを心配しているかどうかを見る必要があるだけです。人の働きが神の遣わしたものにしがっているなら、遣わされた者は心配せず、多くの意見はないでしょう。

あなたは業務を遂行する時に、その難易度が高いかどうかだけで、その方法を取るかどうかを決定してはいけません。あなたはその方法が神から出ているかどうか、神が祝福しているかどうか、義を実行しているかどうかに注意を払う必要があります。神から出たものであれば、たとえ難易度が高くても、あなたの部下や周りの人は神の祝福の下で、それを実行することができます。また、その働きは神からであるので、失敗するか成功するかについてあまり心配することもなく、ただ前向きに進むことができます。召会の奉仕だけでなく、仕事の働きにおいても主と一つになり、神から出た働きを実行すべきです。

④パウロが神に仕えたのは、彼が幸いで納得し、それゆえに決心して神のために何かを行なったからではありません。違います! 彼が神に仕えたのは、自分自身を内住する神にささげ、ゆだね、自分の思い、感情、意志を神の管理の下に置いて、神で占有され、満たされたゆえでした。このようにして神は彼の中ですべての立場を得て、ご自身の霊を通して彼の中で働き、彼を動機づけて働かせ、仕えさせることができました。彼は内側で神によって推動かされたので、彼に外側で神に仕えるように強い力がありました。彼は自分自身の熱心や自分の思い、感情、意志によって強いられるものではありません。違います! 彼の中には神がおられ、彼とミングリングし、彼が奉仕するように動機づけました。この奉仕は彼自身から出て来たものではありません。そうではなく、神から出て来ました。一見して、それは彼が奉仕していたようですが、実は、神が彼の内側で働き、動機づけていたのです。

コロサイ 1:29 このために、私もまた労苦し、私の内で力をもって活動している彼の活動にしがって、奮闘しているのです。

20世紀最大の経営者と言われているGEの元CEOは、優れた仕事を執行するために、内側がエネルギーで満ち、周りの人をエナジャイズすべきであると言いました。主はあなたの霊を七倍に強化された霊でエナジャイズすることができます。そして、内側が主で満たされた後、主は川のようにあなたの内側から他の人に流れ出ます。霊で満たされて内側がエネルギーで満ち、周りの人をエナジャイズすることができれば、あなたは必ず優れたビジネス・パーソンになることができます。

「主から離れて行ったことは全て無である」、「自分の意見、見解を停止する」、「働きが自分からではなく神からでなければならぬ」は、あなたが仕事をしなくてよいということではありません。あなたは自分の内側が主に住んでいない状態、主の言葉を拒み、自分の意見を主張する状態、自分のために自分の力によって働こうとする状態を必ず対処してください。内側が対処されれば、外側の働きも変わります。

詩歌、381番

- 1 主、わがいのち、うちに生く；
かみの豊富で われ、満たす。
なが性しつで われきよめ、
復かつの大能、 勝利得さす。
 - 2 いのちの流通、 われ照らし、
ひかりのなか、 まじわりす；
種々の供給と、 要求もあり、
われをきよめ、 享受させる。
 - 3 なれはその霊、 あぶら塗り、
れい、たましいに 浸みわたり、
ながかたちに つくり変え、
身のたけまで 成長させる。
 - 4 いのちの成分、 ゆたか、新鮮、
われ、うるおし、 呼び覚ます。
いのちは死を 飲み尽くす、
なげき変わり、 うたとなる。
 - 5 われをまったく 主にささぐ、
みこころにて まじわりす；
もはや自分で あらためず、
もがかず、主を さまたげず。
 - 6 おのが努りよく、 まったくやめ、
主、はたらかせ、 自己を脱ぐ；
聖徒取り組む みからだは、
主を住ませ、 主を表現す。
1. 主、你是我生命，活在我里面；
带着神的丰盛，来将我充满。

- 你的圣别性情，使我能成圣；
你的复活大能，使我能得胜。
2. 你这生命流通，我就蒙光照，
使我活在光中，与你能相交；
带来各种供应，也有所要求，
使我得蒙洁净，享受你所有。
3. 你是那灵运行，像膏油涂抹，
将我心思、心、灵，全都浸润过，
使我全人变化，成为你形状，
直到成熟长大，满有你身量。
4. 你的生命成分，成为我丰富，
时常将我滋润，使我得复苏。
生命吞灭死亡，软弱变刚强；
释放消除捆绑，下沉变高昂。
5. 因此我将自己，完全献给你，
照着你的心意，活在交通里；
不再立志挣扎，不再改自己，
使你受到打岔，毫不能为力。
6. 乃是完全停下自己的努力，
让你运行、变化，使我脱自己；
与众圣徒配搭，成为你身体，
让你定居、安家，彰显你自己。

841. The Church – Her Building

1. Thou art all my life, Lord,
In me Thou dost live;
With Thee all God's fulness
Thou to me dost give.
By Thy holy nature
I am sanctified,
By Thy resurrection,
Vict'ry is supplied.
2. Now Thy flowing life, Lord,
Doth enlighten me,
Bringing in the spirit
Fellowship with Thee;

- All my need supplying
Making Thy demand,
Leading me to cleansing
And in Thee to stand.
3. Thy anointing Spirit
Me shall permeate,
All my soul and spirit
Thou wouldst saturate;
Every part transforming
Till conformed to Thee,
Till Thy life shall bring me
To maturity.
4. Lord, Thy life abundant,
Flowing, rich and free,
Constantly refreshes
And empowers me.
Death by life is swallowed,
Weakness is made strong,
All my bonds are broken,
Gloom is turned to song.
5. I would give myself, Lord,
Fully unto Thee,
That Thy heart's desire
Be fulfilled in me.
I no more would struggle
To myself reform,
Thus in me to hinder
What Thou wouldst perform.
6. I would cease completely
From my efforts vain,
Let Thy life transform me,
Full release to gain;
Build me up with others
Till in us Thou see
Thy complete expression
Glorifying Thee.